

2014.112 神奈川県公聴会 (宮前)

田園 14 版 2014年(平成26年)1月19日(日曜日) 頁

リニア工事 環境悪化懸念

麻生で公聴会 公述人「凍結、再検討を」

川崎市は18日、リニア中央新幹線の騒音、振動の調査結果などを示した「環境影響評価準備書」に対する公聴会を麻生区役所で開いた。

公述人として出席した市民ら10人は、工事による環境悪化などへの懸念を述べ、計画凍結や再検討を求めた。公聴会は19日も宮前区役所で開かれる。

リニアは県内ほぼ全区間でトンネルを通り、川崎市内の工事では約400万立方メートルの残土が市内5か所の立て坑(非常口)のうち、数か所から排出される。

麻生区の小西邦弘さん(70)は「幹線道路沿いには

トラックが狭い通学路を11年間も行き交う」と述べ、周辺道路の使用に反対した。

一方、事業者のJR東海は「大気汚染の環境基準への適合を第一に取り組み。工事車両ルートの分散化も検討する」などと説明した。

「環境影響評価を再度 浩さん(76)は「残土運搬の増加が懸念されるとして、」

「実態するまで、市長は工事 を認可しないほしい」と 訴えた。また、同区の上野

2014,1.18 川崎市公聴会 (麻生)

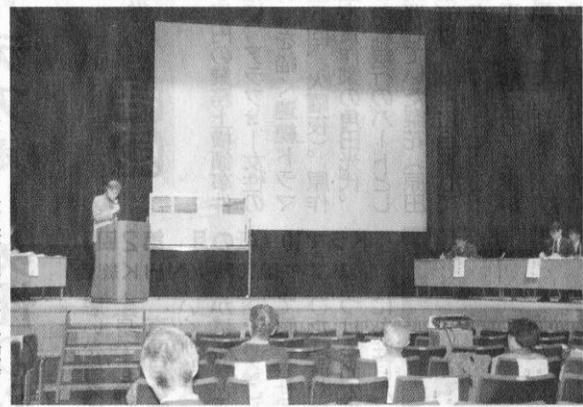
採算、環境面の影響懸念

中止求める意見相次ぐ

リニア中央新幹線の環境影響評価(アセスメント)準備書に関する県主催の公聴会が12日、川崎市宮前区の宮前市民館ホールで開かれた。市民ら10人が意見を陳述。採算面や環境面への影響を懸念し、計画の中止・凍結を求める意見が相次いだ。肯定的な意見はなかった。

(山下 徹)

川崎 県、アセス準備書公聴会



計画の中止を求める意見が相次いだ公聴会 川崎市宮前区

リニア中央新幹線をめぐっては、JR東海が2027年に東京・品川―名古屋間(286キロ)の先行開業を目指し、14年秋にも着工

リニアは今

する見通しを示している。公聴会には同社が昨年9月にアセス準備書を公表したことを受け、県が条例に基づいて開いた。

会場では事前に申し込んだ10人が、1人7分の制限時間内で意見を述べた。同市麻生区の男性(66)は「少子化で人口が減る中、東海道新幹線とリニア新幹線という二つの事業を同時に運営するのは採算面から見て全く非現実的で、事業そのものが破綻する」と批判、「建設計画を中止するべきだ」と訴えた。

また同区の女性(59)は「最大の問題は、品川―名古屋間のうち86%がトンネルだということ。南アルプスの下を貫通するのは、日本最大の自然に対する破壊行為だ」と述べた。このほか「トンネルの中を走行するということは、いったん事故が起きたときに地上と比べて大惨事になる可能性が高い」といった意見も出された。

県は13日も相模原市緑区の「サン・エール」がみはら」で同様の公聴会を開催。両会場で出た意見や県環境影響評価審査会の答申などを踏まえ、3月25日までにJR東海に意見書を提出する予定。

リニア通る川崎 反対意見相次ぐ

市主催公聴会

川崎市宮前区役所で19日、リニア中央新幹線についての意見を聞く市主催の公聴会が開かれた。6人の公述人は、全員が建設に反対する意見を述べた。

高津区の女性は「大地震が起きた場合、千人もの乗客が地下から脱出することになる」と緊急時の対応を質問。宮前区の男性は工事が出る残土の処理方法を明らかにするよう求めた。

JR東海は「警察などと調整する」「工事の認可後に具体的なことが決まる」と回答。「誠実に答えていない」「工事の認可後では遅すぎる」と傍聴席からは不満の声が漏れた。高津区の男性はJR東海

がまとめた「環境影響評価準備書」について「内容が不十分。申し直すべきだ」と発言。宮前区の男性は「市長は計画の本質を見抜き、あるべき方向性を示す意見書を」と求めた。川崎市内では、住宅地の直下の約16キロにわたるトンネルと、5カ所の非常口の工事が計画されている。

2014,1,20 朝日

2014.1.19 川崎市公聴会 (宮前)

長期工事に反対続出

リニア公聴会

リニア中央新幹線について市民の意見を聴く県主催の公聴会が相模原市緑区で13日開かれ、15人の公述人全員が建設反対の意見を述べた。10年以上も続く大工事に地元住民から、怒りの声や懸念が出された。JR東海は緑区の橋本駅

そばの地下に中間駅、鳥屋地区に関東車両基地の建設を予定している。住民から騒音や振動、大気汚染などを心配する声が続出した。中間駅について男性は「想像してください。自分が通勤する駅、すぐ近くに住んでいるところで10年以

上も工事が続く(ト)を」と訴えた。

鳥屋地区の住民からは「ばかどかい基地建設で居住者を立ち退かせるのは理不尽。50軒が住み慣れた地を追われる。一つの自治体が消滅する」と住民の断絶を心配する。

公聴会は、中央新幹線の環境影響評価準備書について審査する県環境影響評価審査会が参考にするため開かれた。審査会は知事に審査結果を答申し、知事は3月25日までにJR東海に意見を出す。

(山元一郎)

2014.1.14 朝日

2014,1.13 神奈川県公聴会 (相模原)